

協定を締結して記念撮影する寺町
社長室と中根市長＝岡崎市役所で



災害時 工場を避難所に

トヨタ自動車系プレス部
品メーカーの高木製作所
(名古屋市)と岡崎市は二
十四日、災害時に同社岡崎
工場(同市牧平町)にある
メインオフィス棟などを、
地元住民が避難所として活
用できるように協定を結ん
だ。

一九七七年に額田工場
(現在の岡崎工場)を建

岡崎市と高木製作所

住民向けに協定締結

設。主力工場として燃料給
油口カバーなど小物プレス
部品を製造してきた。老朽
化でメインオフィス棟の建
て替えを検討した際、避難
所としても利用できること
を念頭に設計。寝泊まりし
やすいよう食堂を広めに
し、地下の倉庫に食料など
を備蓄できるようにした。
建て替えは昨春に完了し、

その後、同社から市に協定
締結を申し出た。

二十四日に市役所であつ
た調印式で、中根康浩市長
は「(岡崎工場がある)額
田地域は山間部で、土砂災
害の危険度が高い。災害時
に避難所として活用できる
のは住民の安心材料にな
る」と感謝。寺町泰晃社長
は「岡崎でこの会社は発展
させてもらえた。この地域
にある会社として、責任を
果たしたい」と応えてい
た。

(酒井博章)